

若手監督官（石川労働局採用）インタビュー

【法文系区分採用】令和6年4月 任官

Q. 監督官を志望した理由

大学で学んだ知識を活かせる職に就きたいと思い、監督官を志望しました。監督指導から安全衛生まで多岐に渡る業務に携われること、直接会社や現場に伺い、社長さんや労働者の方と会話したりと常に新鮮さを感じながら仕事ができることに魅力を感じました。



Q. 石川労働局の魅力や監督官のやりがいについて

石川労働局は先輩職員の方々が優しく、分からない点は丁寧に教えてくれます。職場内の風通しがよく、有休も取得しやすいため働きやすいと感じています。私の所属する小松署の管内では、製造業が多く、金属加工用機械や化学物質の取り扱いがある工場に監督に行く機会があり、貴重な経験となっています。法違反を指摘し、改善を確認できた時には大きなやりがいを感じます。

Q. 受験生へのメッセージ

監督官は日々の業務の中で、新しい知識を習得しながらキャリアアップできる職業です。将来の選択肢の1つとして、パンフレットや業務説明会を通じて興味をもってくださったら幸いです。皆さんと働ける日を楽しみにしています！